

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587036902	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (教育相談) / Educational counseling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soudan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標 / Goal	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義・演習(個人及びグループ)		
授業内容 / Class outline / Con	第1回 教育相談の意義について学ぶ 第2回 教育相談と生徒指導の領域について学ぶ 第3回 カウンセリングの基本技法について学ぶ 第4回 カウンセリングの基本技法を体験する 第5回 児童生徒の問題行動等の現状についての理解 第6回 不登校児童生徒への理解について学ぶ 第7回 不登校児童生徒への対応について学ぶ 第8回 発達障害の児童生徒への理解について学ぶ 第9回 発達障害の児童生徒への対応について学ぶ 第10回 いじめ問題について学ぶ 第11回 いじめ問題を事例をもとに理解する 第12回 学級崩壊への理解と対応 第13回 危機介入について学ぶ 第14回 学級集団への援助の方法について学ぶ 第15回 学級集団への援助の方法を体験する 第16回 授業の総括(まとめ、試験を含む)		
キーワード / Key word	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(40%) 授業ごとのレポート(45%) 授業への参加度・貢献度(15%) 合計60%以上を合格とする。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587037701	科目番号 / Subject code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (身のまわりの科学) / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	geosuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館413		
担当教員TEL / Tel	2373		
担当教員オフィスアワー / Office hours	平日 7時 ~ 8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	地球科学と社会の関わり, 人間生活の関わりについて学ぶ.		
授業到達目標 / Goal	地球科学と社会の関わり, 人間生活の関わりについて理解できた.		
授業方法 (学習指導法) / Method	スライド, ビデオ, 説明を使用する.		
授業内容 / Class outline / Con	地球科学と社会の関わり, 人間生活の関わりについて学ぶ.		
キーワード / Key word	地球科学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に無し		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	中間試験, 期末試験, 授業に対する貢献度, レポート		
受講要件 (履修条件) / Requirements	日本語のヒアリングができること.		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/02/03		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587038501	科目番号 / Subject code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Subject	教育と社会 (環境と社会) / Environment and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館1F第13講義室 / Room13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-fuji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部技術美術教棟115室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8:00-8:45、昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	地球環境問題やエネルギー問題など現代社会が抱える問題について、個人の価値観のみならず、社会的な意志決定の方法や課題を認識し、個人の有り様を問い直す講義である。		
授業到達目標/Goal	環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法を説明できる。また、その変革に関わるための態度や実践力を養い、持続可能な社会作りに貢献するための自身の役割を説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。また個人ワークと班ワークでの活動があります。そして適宜出される課題や自ら設定した課題を行ってもらいます。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境問題 (地球温暖化、廃棄物問題、水問題など)、エネルギー問題 (電源選択、高レベル放射性廃棄物処理など)、ガバナンス、価値観、意志決定		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書: 環境白書, エネルギー白書, 刀根薫「ゲーム感覚意思決定法 AHP入門」など、講義資料はLACSに掲載します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各課題の評価 (50%) 最終レポート・発表 (30%) 講義におけるディスカッション等での貢献度 (20%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	環境問題やエネルギー問題に強い関心を持つ学生で、積極的に議論に参加できること。(グループ・全体での討論が多いことを事前に認識しておいて下さい)		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション(目的、学習方法、ルールなど) アイスブレイキング(情報伝達とは)		
第2回	リスクから環境や社会を考える (リスク認知調査と放射線)		
第3回	リスクから環境や社会を考える (リスク認知調査結果の分析)		
第4回	持続可能な社会を目指して! 地球環境問題と私たちの暮らし: エコロジカルフットプリントを活用して (自宅の電力・水・ガスの消費量を調べてくること)		
第5回	持続可能な社会を目指して! 持続可能な社会構築を検討する 地球温暖化(科学的な思考)		
第6回	これからのエネルギー社会を考える エネルギー問題の最新動向(日本)		
第7回	これからのエネルギー社会を考える エネルギー問題の最新動向(世界)		

第8回	水と社会
第9回	廃棄物と社会
第10回	電気のゴミを考える LCAから見た評価（排気ガスを固形廃棄物を中心に）
第11回	電気のゴミを考える 高レベル放射性廃棄物の処分問題の検討
第12回	これからのエネルギー社会を考える 2030年の日本の電源構成を考える
第13回	これからのエネルギー社会を考える スマートコミュニティを例として 「環境と社会」を題材とした課題設定（グループ学習の準備）
第14回	総合討論・持続可能な社会と私
第15回	「環境と社会」を題材とした課題発表（グループ学習の成果発表）
第16回	